

第62回定例会報告

磐城高校第18回卒 在京者各位

幹事 添田 稔 記

磐城高校18回卒在京会第62回定例会は、令和5年6月2日（金）レストラン飛鳥に於いて開催され、午後5時開催のところを午後4時半に急遽変更し行われました。4年ぶりに再会したメンバーは33名（在京25名、いわき8名）でした。

今回は台風2号が身近に迫る中、幹事各位への電話問い合わせが鳴りっぱなしの状態でした。そんな中、午後3時には、いわきタクシーのジャンボタクシーに7名が乗り込み飛鳥に向かっていていると言う連絡も入り、午後3時45分、到着したいわきメンバーは門馬茂美君、作山茂保君、郡充君、園部優君、田子康男君、福田伸一郎君、伊藤盛敏君の7名でした。（織内正博君は電車での参加、在京メンバーは末尾リストをご参照下さい）

午後4時30分、石澤幹事から「出席予定者がほぼ集まっており、大雨の中、いわきメンバーを早めに戻す為、第62回例会を30分早めて開催します。」との宣言があり、引き続き、門馬茂美君と伊藤盛敏君との差入の高級酒などの紹介がありました。

歓声と同時に「早く始めろ」とも声がかかりました。

式次第に則り、猪狩幹事より出席者人数報告があり、原代表幹事からは、「台風2号の影響による豪雨の中、お集まり頂き有難うございました。平成元年に始まったこの会も34年目になり、お蔭様で現在も続いております。しかし、その間に鬼籍に入った方が24名もおられます。我々は無事に後期

高齢者となる事が出来ましたが、このまま元気に喜寿を迎えましょう。」との挨拶がありました。

さらに、いわきメンバー代表として門馬くんの挨拶があり、返信葉書トップ到着者の織内英紀君が「皆さんご唱和下さい、死ぬまで生きるぞ！エイエイオー」と叫んだ後に乾杯の音頭を取り、酒宴と歓談が始まりました。

(在京磐高同窓会会長の鈴木正晃君の挨拶はありませんでしたが、9月2日-土-16:00より上野精養軒で在京会総会が開かれますので、皆さま是非ご参加下さい)

しばし歓談の後、久々メンバーの新妻章一君、野村(旧姓加藤)光男君、伊藤盛敏君の挨拶が始まりましたが、コロナ禍のカラオケ禁止の影響でマイクも使えず、折角の挨拶も遠くに届かずの場面もありました。

午後5時、高木憲爾君が療養中の身を押し、奥さんに付き添われて来訪。食事も酒も飲めないながらも周りに声をかけて回る姿に、皆が感動しきりでした。

午後6時15分、歓談が続き宴もたけなわではありましたが、豪雨の中でのいわき戻りを早める為、写真担当の沼田幹事の声掛けで4年振りの集合写真撮影に入りました。

写真撮影では、ホームページ“いわき便り”で定評のある織内正博君も加わりました。織内正博君は豪雨の中を電車でいわきに戻った後、翌日早朝には編集済み集合写真を事務局まで送って下さいました。

(その写真は速報分として18回卒ホームページに載せましたので併せてご覧ください。)

皆が席に戻った時、添田幹事が立ち上がり「これまでの例会の金曜日午後5時からの内容を、年金生活者になったので新たに提案したい」との発声があり、飛鳥はランチタイム過ぎであれば何時でも良いという了解の下、

1. 開催回数：年2回か 年1回か
2. 開始時間：午後2時から 3時から 4時から 5時から
3. 開催曜日：木曜日か 金曜日か

の3項につき決を採り、結局、次回は12月1日金曜日の午後3時からと決まり、「次回も来るぞ」との歓声が上がりました。

(飛鳥ママもその場で開催日時を確認済み)

前回欠席ながら水害を乗り越えた元応援団長の福田伸一郎くんの指揮で校歌斉唱、そして元気一杯のエールで締めくくりました。

福田伸一郎君のすぐ後には、高木憲爾夫妻の笑顔がありました。

午後6時30分、豪雨の中をジャンボタクシーで戻る7名を見送り、その後在京メンバーは部屋に戻り午後7時30分まで2次会を楽しみました。

豪雨の中での開催となりましたが、4年ぶりの交歓に喜びもひとしおでした。

以上

【在京メンバー：敬称略・あいうえお順】

五十嵐健治、猪狩恒男、石澤宏一、小川禅雄、小川 浩、織内英紀、金成英雄、金賀和夫、栗原輝進、鈴木進一郎、鈴木正晃、添田 稔、高木憲爾、高木茂雄、高木佑一、高萩良郎、高本正美、新妻章一、沼田 傑、野村光男、羽石泰弘、原 雅英、山本茂雄、渡部重彦、藁谷友治